

行事の 聴く お話

お花見のお話

まずは、クイズです。春に、「お花見」で見る花は次のうち、どれでしょうか？

●タンポポ ●チューリップ ●桜

答えは、桜です。タンポポやチューリップを見ることを「お花見」とは、あまり言いませんね。桜の花を見るのが「お花見」です。昔から、日本人にとって、桜は特別な花なのです。

大昔、お米を作っていた人たちは、田んぼに神様がいると考えていました。神様は、寒い冬の間は山の上に住んでいて、春に桜の花が咲き始めると、田んぼがあるところへ降りてくると思われていたのです。だから、桜の木の下に食べ物やお酒をお供えして、「今年もお米がたくさん実りますように。」と、祈りました。

また、桜が咲いたのを見て、「暖かくなったから、そろそろ田植えをしよう。」と、準備をしました。

それから、大きな屋敷で暮らす人たちは、桜を眺めながら、食事したり、歌を作ったりしました。満開の桜があまりにも美しくて、うっとり見ていたのでしょうか。

やがて、みんなで桜を楽しもうと、日本中に桜が植えられました。今も、日本のいろいろなところで桜が咲くと、みんながお花見を楽しみます。

皆さんの園やおうちの近くに、桜の木はあるかな？ これからだんだんと、つぼみも膨らんできますね。桜が咲いたら、「昔の人も見ていたんだなあ。」と思いながら、お花見をしましょうか。「きれいだな。」と感じる気持ちちは、きっと同じですね。

(おしまい)

● 聴くお話は、耳で聴いただけで、様子を思い浮かべたり、内容を理解したりするお話です。小学生になっても必要とされる、「話を聴いて理解し、考えたり行動したりする力」を育てます。行事の導入や、ちょっとした空き時間にぜひご活用ください。

